

# Minds やさしい解説

図 解

## 子宮体がん

(2010年9月10日 第1版公開)

「やさしい解説」では、病気について、一般の方向けにやさしく解説しています。どんな病気なのか、どんな人がかかりやすいのか、病気に関係する臓器のしくみやはたらき、症状や検査の方法、治療の種類、日常生活上の留意点などをわかりやすい言葉と図を用いて解説しています。

この「やさしい解説」は、Mindsが作成しており、専門医による監修を受けています。

「子宮体がん-やさしい解説」の作成にあたっては、  
“婦人科がん患者会 カトリアの森”の皆様にご協力いただきました。

実際の診療にあたっては、主治医をはじめとする医療者に相談されることをお勧めします。

## 子宮体がんとは？

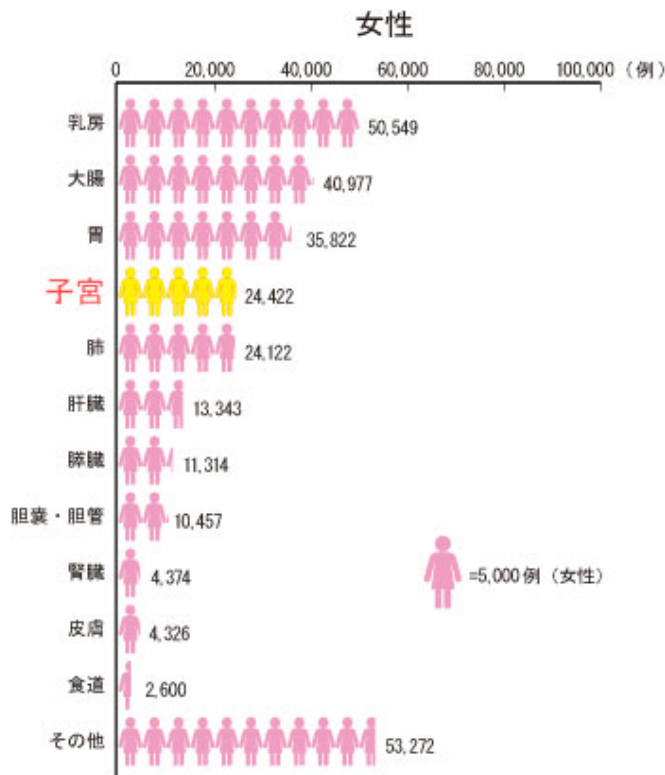
がんとは、悪性の腫瘍(しゅよう)です。

子宮体がんとは、子宮の奥[上部]の子宮内膜に発生するがんです。

患者さんの割合を年齢別にみると、**40歳代で増え始め、50～60歳代で一番多くなります。**

なお、今回紹介する子宮体がんのほかにも、女性の生殖器にできるがんとして、子宮の入り口側[下部]に発生する**子宮頸(けい)がん**と卵巣に発生する**卵巣がん**があります。

図1・がんの罹患者数(部位別) 2004年



注: 喉頭、卵巣、膀胱、脳・中枢神経系、甲状腺、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病は「その他」に含める

出典: 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ 2004年(国立がん研究センターがん対策情報センター)より作成

## 女性の生殖器のつくりとはたらき

女性の生殖器はお腹の下側にあります。  
からだの中に収まっている器官を**内性器**といい、**子宮、卵巣、卵管、膣(ちつ)**で構成されています。

図2・内性器のつくり

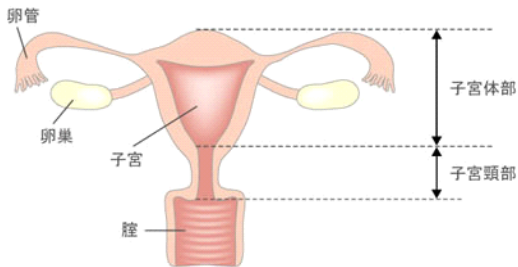
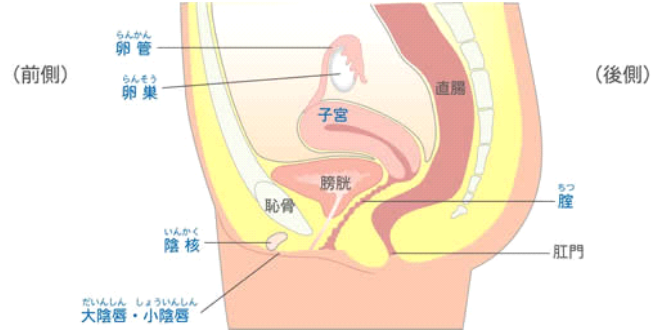


図3・女性生殖器の位置とつくり(断面図)



子宮は、厚さ1cmを超える筋層でできた袋状の器官で、その内側は子宮内膜[粘膜]に覆われています。  
上部3分の2は**子宮体部**、下部3分の1にあたり、膣につながる部分は**子宮頸(けい)部**と呼ばれ、大きく2つに分けられています。

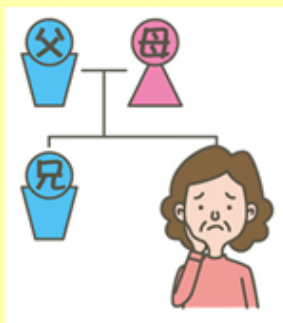
卵巣でつくられた**卵子**と**精子**が合体して**受精卵**となり、子宮内膜にくっついて**着床**すると、妊娠が成立します。  
受精卵は、胎児となって出産されるまで、子宮内で発育されます。

また、女性の生殖器の近くには、リンパ節と呼ばれるリンパ管をつなぐ組織が分布しています。

## どんな人がかかりやすいの？

右記のように、**女性ホルモン**の変動による影響を受けている人など、**危険因子を多くもった人**は、子宮体がんにかかる危険が高くなります。

### <子宮体がんのおもな危険因子>



- 未婚
- 出産歴がない
- 不妊傾向がある
- 月経が不規則

- 乳がんなど、ほかのがんにかかったことがある
- 家族の中にがんにかかった人がいる
- 卵胞ホルモン[エストロゲン]を補充する治療をしている
- そのほか[肥満・糖尿病・高血圧・脂質異常症の方]



## どんな検査をするの？

### ◆ 診察

診察時には、医師による問診・**内診**が行われます。

内診では、膣(ちつ)から指を入れて、子宮や子宮の周りの状態を調べます。

### ◆ 検査



子宮体がんの検査では、一般的に以下のような検査を行い、子宮体がんであるかを判定します。

子宮体がんであることが判明したら、CTやMRIなどの画像検査を行い、がんの広がりを診断します。

表1・子宮体がんのおもな検査

検査の種類	内容
細胞診 組織診	<small>ちつ</small> 膣から細い器具を入れて、子宮の内膜の細胞や組織の一部分を採り、それを顕微鏡で観察して、悪性であるかどうかなどを調べる
経腔エコー検査 [超音波検査]	耳では聞きとれない音波を出す機器を膣から入れて、子宮の状態を内側から調べる
CT検査 <small>だんそうさつえい けんさ</small> [コンピュータ断層撮影検査]	エックス線で撮影した映像をコンピュータが計算して、人体を輪切りにした状態へ画像化し、子宮体がんのある場所や転移の有無を調べる
MRI検査 <small>じ き きょうめい えい ざう ほう</small> [磁気共鳴映像法]	磁場と電波を用いて、体内の状態をさまざまな方向から鮮明に画像化し、子宮やその周りの状態を調べる

## 子宮体がんはどのように進行するの？

### ◆ステージ分類

子宮体がんの進行の度合いは、がんの**大きさや広がり方**、リンパ節やほかの臓器への**転移の程度**によって**進行度[ステージ]**という段階で表されています。

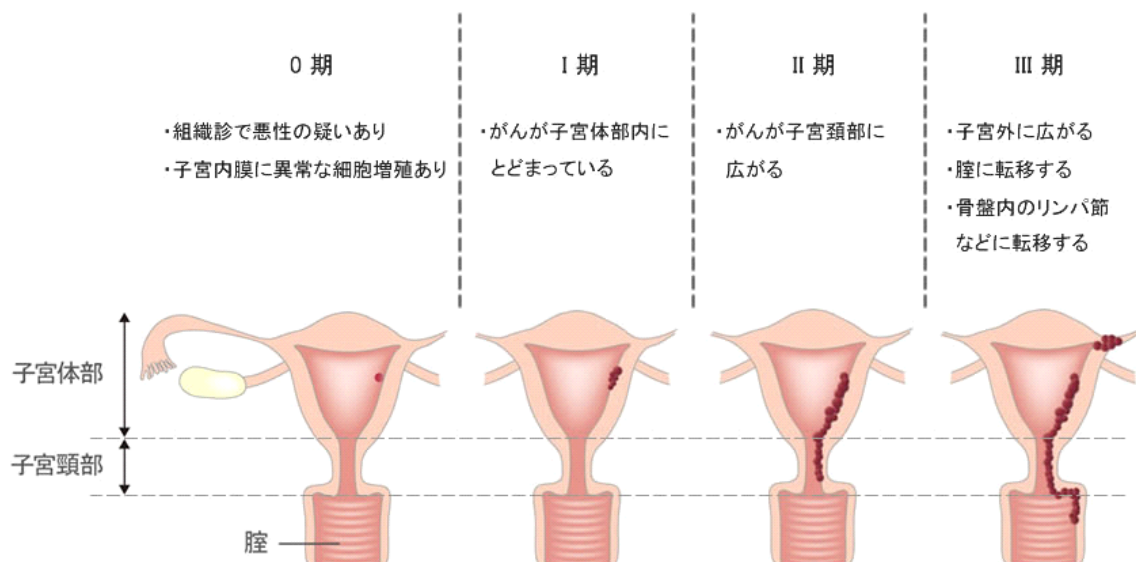
ステージを知るとは、どのような治療を行うかを決め、治療によってどの程度治せるかなどを予測するために重要です。

表2・子宮体がんのステージ

進行度 [ステージ]	0期	組織診で悪性が疑われた場合、または子宮の内膜に異常な細胞の増殖が認められた場合	
	I期	がんが子宮体部内にとどまり、子宮頸部やリンパ節、あるいはほかの臓器に広がっていない	
	II期	がんが子宮頸部に広がっているが、リンパ節やほかの臓器に広がっていない	
	III期	A	がんが子宮外に広がり、漿膜や付属器を侵すか、あるいは腹腔内 <sup>しょう</sup> にがん細胞が見られる
		B	がんが腔に転移している
		C	がんが骨盤内のリンパ節や下腹部の太い動脈周囲のリンパ節にも転移している
	IV期	A	がんが膀胱や腸など、近くの臓器にも広がっている
B		がんが遠くのリンパ節や臓器に、すでに転移している	

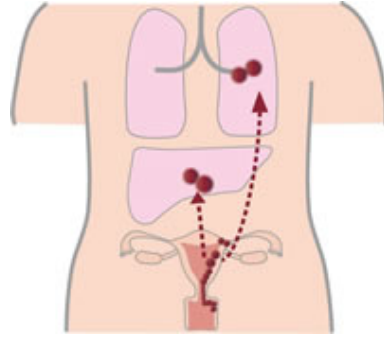
出典：日本産婦人科学会、日本病理学会、日本医学放射線学会編. 子宮体癌取り扱い規約 2006年4月【改定第2版】. 金原出版 より作成

図4・子宮体がんの進行度[ステージ]



#### IV 期

- ・近くの臓器に広がる
- ・遠くのリンパ節や臓器に転移する



また、治療によっていったん子宮体がんを取り除いても、再び発生する場合があります。これを**再発**といいます。



## がんの転移・浸潤とは？

がん細胞が、発生した場所で増え続けていくとともに、周りの器官に直接広がっていくことを**浸潤(しんじゅん)**といいます。

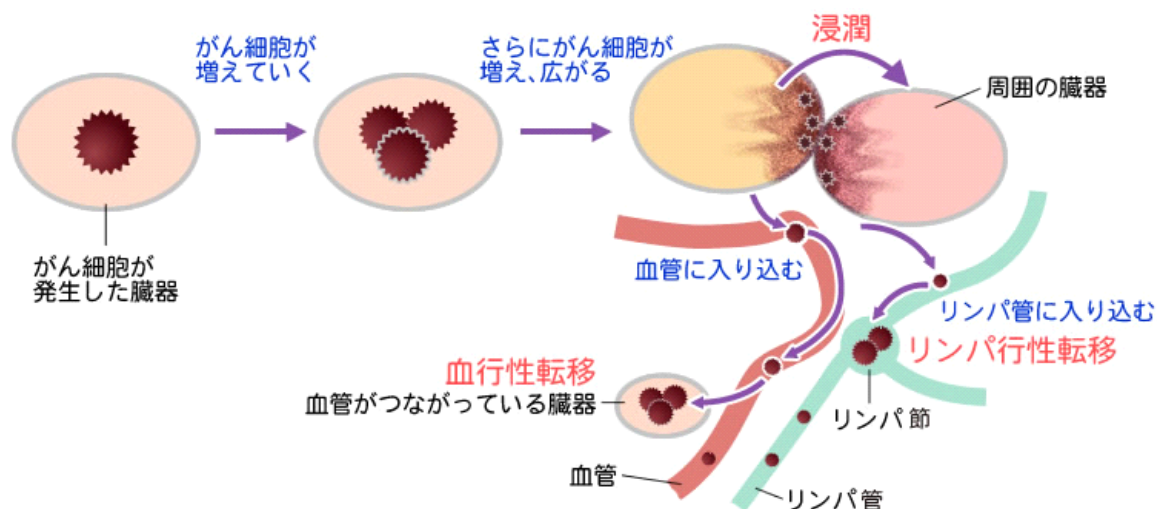
がん細胞が周囲にある**血管**や**リンパ管**に入り込み、血液やリンパ液の流れによってたどり着いた場所で広がることを**転移**といいます。

転移に関する用語は、転移の仕方によって、次のようなものがよく使われます。

表3・転移の種類

リンパ行性転移	がん細胞が、周囲にある <b>リンパ管</b> に入り込み、近くのリンパ節に転移し、さらにリンパ液に乗って運ばれ、遠くのリンパ節にまで広がっていく
血行性転移	がん細胞が、近くの <b>毛細血管</b> や <b>静脈</b> に入り込み、血液の流れに乗って運ばれ、たどりついた臓器で広がっていく
はしゅ 播種性転移	がん細胞が、臓器のもっとも外側の膜から <b>浸潤</b> し、胸腔や腹腔内にあたかも種をまいたように散らばって広がっていく

図5・浸潤・転移のしくみ



## どんな治療法があるの？

### ◆手術療法

子宮体がんの治療は、がん細胞や転移する可能性がある部分を取り除く手術療法が中心となります。

基本は、**子宮と両卵巣をすべて切り取る手術**になります。

がんが転移することの多い**リンパ節**も切り取る場合が多く、がんの広がりや進行度に応じて、手術内容は変わります。

手術後は、腸の通りが悪くなる**腸閉塞**、足や下腹部にむくみがでる**リンパ浮腫**などの副作用が現れることがあります。

多くの場合、早めに対応することで、副作用の症状をコントロールすることができます。



#### < 手術に伴う副作用 >

##### ●腸閉塞

(リンパ節を切り取った場合)

##### ●リンパ浮腫[足や下腹部のむくみ]

(子宮周辺を広く取り除いた場合)

##### ●排尿障害

### ◆薬物療法[抗がん剤やホルモン剤を用いた治療]

手術後に再発する可能性が高い場合、**抗がん剤**を使用して、がん細胞を死に至らせる治療を行います。

また、ごく初期の子宮体がんには、手術を行わずに子宮体がんを抑制する効果のある**黄体ホルモン[プロゲステロン]製剤**を使用する治療が行われることもあります。

#### < 子宮体がん治療薬の副作用 >



##### ●抗がん剤

- ・脱毛
- ・激しい吐き気、吐く、下痢
- ・貧血を起こす、出血しやすくなる
- ・血液中の白血球が減少して感染症にかかりやすくなる
- ・そのほか[手足がしびれる、全身がだるい、味覚や感覚が変わる など]

##### ●ホルモン剤

- ・ほてり、のぼせ、気分が落ち込む など

## ◆放射線療法

放射線という高エネルギーの目に見えない光線のがんの発生している部分にあて、がん細胞を死に至らせる治療法です。

おもに手術療法のあとに再発を防ぐ目的で実施されます。

また、高齢であるため、あるいはほかの病気があるために手術ができない場合にも行われます。

### < 子宮体がんの放射線治療の方法 >

- からだの外から骨盤に放射線をあてる
- ちつ腔から器具を入れて腔の中から放射線をあてる

## ◆対症療法・緩和ケア

がんを切り取る手術が難しいとき、またほかの臓器や全身にがんが広がっているときには、からだに負担のかかる手術や抗がん剤による治療ではなく、患者さんの**生活の質を重視**した治療を行います。なかでも激しい痛みは患者さんの生活の質を大きく低下させるため、**痛みをコントロール**することはとても大切です。

痛み止めとして、鎮痛剤や医療用麻薬が使われます。

これらは、適切に用いれば**薬物依存**になることはありません。

むしろ痛みがなくなることで、よく眠れる、食事ができるなど**生活の質を高める**効果があることが分かっています。

### < 患者さんの生活を重視した治療 >

- 身体的、精神的な負担を取り除くために、鎮痛剤や医療用麻薬を使う
- 神経の通り道に注射をして、痛みをやわらげる

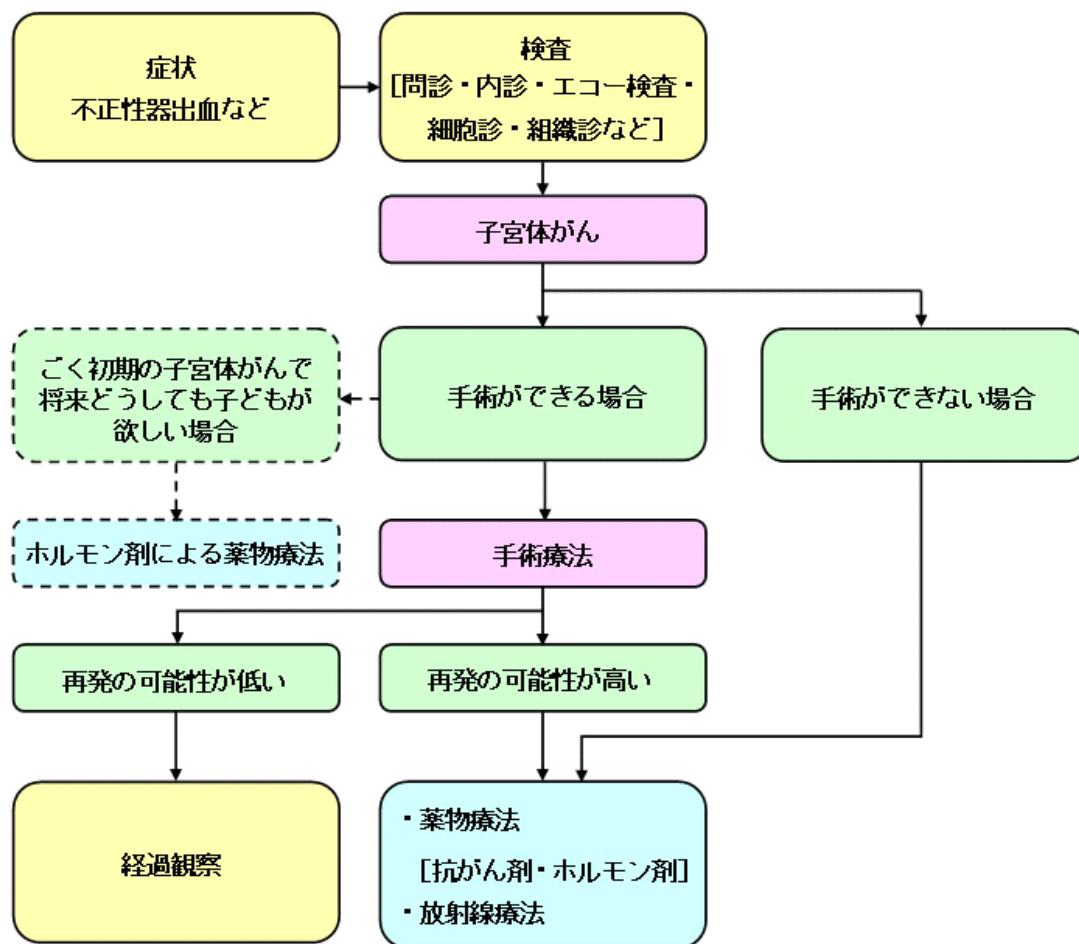
## ◆セカンドオピニオン

主治医とは別の医師に自分の病状について説明・確認し、治療方針について意見を求めることを「セカンド・オピニオンを求める」といいます。



自分が受けた診断内容や治療方法に疑問や不安を感じる場合、十分納得したうえで、自分のライフスタイルに合った治療方法を選択するために、主治医以外の医師から意見を聞くことが、役立つ場合もあるでしょう。

# 子宮体がんの診断から治療までの流れ



## 日常生活ではどんなことに気をつければいいの？

子宮体がんの治療が成功しても、**再発**する可能性が全くなくなったわけではありません。  
子宮体がんの治療がいったん終了したあとも、**規則正しい生活**や、からだに負担がかからない程度の**運動**などにより体調管理を心がけることが大切です。

また、**定期的に医師のチェックを受ける**ようにしましょう。

### <日常生活で気をつけること>

- 栄養バランスの良い食事を摂る
- 定期的に軽い運動を行う
- 適正体重を保つ
- 禁煙する
- お酒を飲みすぎないようにする



## 引用資料

※	国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービスホームページ 一般の方へ 統計 最新がん統計 集計表のダウンロード 2. 罹患データ( <a href="http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html">http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html</a> )
---	---

## 参考資料

1	日本産婦人科学会, 日本病理学会, 日本医学放射線学会編集. 子宮体癌取扱い規約(改訂第2版). 東京:金原出版;2006
2	Mindsホームページ 子宮体癌治療ガイドライン2006年版 ( <a href="http://minds.jcqhc.or.jp/stc/0050/1/0050_G0000135_0001.html">http://minds.jcqhc.or.jp/stc/0050/1/0050_G0000135_0001.html</a> )
3	Mindsホームページ 胃がん治療ガイドラインの解説 胃がんの治療を理解しようとするすべての方のために 一般用2004年12月改訂第2版( <a href="http://minds.jcqhc.or.jp/stc/0023/3/0023_G0000099_0002.html">http://minds.jcqhc.or.jp/stc/0023/3/0023_G0000099_0002.html</a> )
4	国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービス ホームページ 一般の方へ 各種がんの解説 胃がん 再発・転移概略 ( <a href="http://ganjoho.ncc.go.jp/public/cancer/stomach/relapse_01.html">http://ganjoho.ncc.go.jp/public/cancer/stomach/relapse_01.html</a> )
5	国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービスホームページ 一般の方へ 各種がんの解説 子宮頸がん ( <a href="http://ganjoho.jp/public/cancer/data/cervix_uteri.html">http://ganjoho.jp/public/cancer/data/cervix_uteri.html</a> )
6	国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービスホームページ 一般の方へ 各種がんの解説 子宮体がん ( <a href="http://ganjoho.jp/public/cancer/data/corpus_uteri.html">http://ganjoho.jp/public/cancer/data/corpus_uteri.html</a> )
7	国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービスホームページ 一般の方へ 統計 最新がん統計 集計表のダウンロード 2. 罹患データ( <a href="http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html">http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html</a> )
8	財団法人がん研究振興財団ホームページ 刊行物「がんとう向きあうか 子宮がん」 ( <a href="http://www.fpcr.or.jp/publication/pdf/uterine.pdf">http://www.fpcr.or.jp/publication/pdf/uterine.pdf</a> )
9	日本婦人科腫瘍学会ホームページ 市民の皆様( <a href="http://www.jsgo.gr.jp/public/index.html">http://www.jsgo.gr.jp/public/index.html</a> )
10	石原理. イメージするからだのしくみvol.10.1版. 東京:メディックメディア;2008
11	医療情報科学研究所編集. 病気がみえるvol.9 婦人科. 1版. 東京:メディックメディア;2008
12	医療情報科学研究所編集. 病気がみえるvol.10 産科.1版. 東京:メディックメディア;2008
13	高橋長雄監修・解説. The Atlas of the Human Body からだの地図帳. 初版. 東京:講談社;2008
14	日野原重明, 井村裕夫監修. 看護のための最新医学講座 第2版 16 婦人科疾患. 東京:中山書店;2006
15	堺章. 目でみるからだのメカニズム. 1版. 東京:医学書院;2000